

Universal Soccer Festival in Taipei & Taoyuan

報告書



目的 台湾において知的障がい者サッカーの普及を行い、静岡県との知的障がい者との交流基盤を作る。

日時 令和元年10月19日(土)～21日(月)

対象 19日(土) 台北市知的障がい者、20日(日) 桃園市知的障がい者

場所 台北市立大学、桃園特殊教育学校

主催 NPO 法人静岡FIDサッカー連盟、台北市立啟智學校、桃園市立桃園特殊学校

協賛 株式会社コーチョー、株式会社小林製作所、有限会社京昌園、株式会社富士山ドリームビレッジ、カークウォリティ車麗屋、台北華真ロータリークラブ

協力 清水エスパルス、NPO 法人清水サッカー協会、ふじのくに静岡県台湾事務所 靖麗国際有限会社

日程

19日(土) 台北サッカー教室

09:00 ボランティア研修

10:30 全体式典(感謝状授与)

11:00 サッカー教室基礎1

12:00 昼食

13:00 サッカー教室基礎2

14:00 試合

① 援助なしチーム

② 大学生との合同チーム

15:00 閉会式

20日(日) 桃園サッカー教室

09:00 ボランティア研修

10:00 全体式典(感謝状授与)

10:30 サッカー教室基礎1

12:00 昼食

13:00 サッカー教室基礎2

14:00 試合経験

15:00 閉会式

21日(月) 学校・施設見学

台北市立大学 全体式典



出席者 台北市立大学副校長、車麗屋広報部長 John、華真ロータリークラブ会長 林香蘭他メンバー、株式会社コーチョー経営戦略部長 渡邊邦彦、株式会社小林製作所 余昀浩 台北市立啓智學校 蔡娟姿校長他職員、NPO 法人清水サッカー協会 理事長 西村 勉、株式会社エスパルス地域事業本部教育事業部長 今泉幸広、株式会社清水エスパルス地域事業営業担当部長 深澤陽介、NPO 法人静岡FIDサッカー連盟 瀬戸脇正勝 ふじのくに静岡県台湾事務所 内藤晴仁

【来賓の皆様】



参加者 臺北市立啓智學校 14名、内湖高級工業職業學校 15名、松山高級商業家事學校 4名、松山高級工農職業學校 4名 ボランティア 臺北市立大學 32名、高校生 10名

私は、今日とてもいい日を過ごすことができました。それは、障がいのある人のサッカー大会に参加することができたからです。車麗屋は、会長の公共福祉の考えに応え、このような活動に取り組みます。 車麗屋広報部長【HP から抜粋】

【キックインセレモニー】 ボランティアの声

今回初めてボランティアとして参加しました。現在の生活で障がいのある生徒と触れ合う機会はほとんどないが、今日のサッカー教室では、障がいのある生徒は自分たちとほとんど変わらない感情を持っていることに気がきました。

彼らは感情表現が苦手であるが、サッカーを楽しむ様子を見て、彼らの感情表現や気持ちを理解できました。

これまで障がい者との活動に参加したことがありませんでしたが、今後、同じような活動があれば、積極的に参加したいと思います。サッカー教室も、来年開催されれば是非ボランティアで参加したい。



【振り返り】



【研修】

保護者の声

子どもは障がいがあるため、日常生活で運動をしたり健常者と触れ合ったりする機会が少ないです。

子どもの障がいは、自閉症スペクトラムであるが、今日は表情も豊かで笑顔も見られ、子供は心からサッカーを楽しんでいます。障がい者の親として今日はとても嬉しい一日です。

台湾の障がい者のために日本からお越しくくださった皆様に、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私自身もぜひ友人に声をかけて、静岡県へ伺い、知的障がい者のサッカーを体験させたい気持ちですが、できますか？

※ そんな交流が実現できるといいですね！



【蔡校長先生（左）と保護者】

桃園特殊教育学校 全体式典



今日、日本から、わざわざ台湾にサッカーの指導に来てくれました。皆さんは、幸せです。この機会に、一生懸命にサッカーを学びましょう。 許唐敏校長 【式典挨拶から抜粋】

出席者 株式会社コーチー経営戦略部長 渡邊邦彦、株式会社小林製作所 余昀浩、桃園特殊教育学校 許唐敏校長他職員 NPO 法人清水サッカー協会 理事長 西村 勉、株式会社エスパルス 地域事業本部教育事業部長 今泉幸広、株式会社清水エスパルス地域事業部営業担当部長 深澤陽介、NPO 法人静岡 FID サッカー連盟 瀬戸脇正勝 ふじのくに静岡県台湾事務所 宮崎悌三所長 内藤晴仁

参加者 桃園市立桃園特殊教育学 35 名 ボランティア 国立體育大適應體育學系 20 名 中原大學特殊教育學系 15 名



参加者の声

- 日本人と大学生と一緒にやったから楽しかった
- 同級生と一緒に楽しめた。
- ボールを蹴るのは楽しい。
- みんなと一緒にやれたから楽しかった。
- 激しくて面白い。
- リハビリになるからまたやりたい
- 日本人とサッカーをやるのは楽しい。
- サッカーは趣味です。 などなど

校長先生と職員の声

サッカー教室の開催に感謝する。ボランティアは教育者を指す学生にお願いしました。今の若者は障がい者と接する機会が少ないですが、このサッカー教室では一日中障がい者と一緒に活動をしました。最初は緊張している様子でしたが、最後は打ち解けた様子で笑顔になっていたのが印象的です。

将来の台湾の教育を担う若者にとって、今日得た経験は非常に意義深く、学びや刺激の多い一日になっていると感じています。

ぜひ来年もサッカー教室を開催して頂きたいです。(許唐敏校長)

最初に静岡側の提案を聞いた時から「やってみたい」と思いました。事実、サッカー教室は生徒の楽しみや教師の大きな経験になりました。また、生徒が楽しむ様子を見学した保護者の喜びにもつながりました。

初年度開催で準備は大変でしたが、それ以上に意義深い交流となったと考えています。来年は、もっと連携して内容を充実させたいと考えています。(羅建洋 輔導主任)



【許唐敏校長と職員左】

ボランティアの声



【ジャンケン勝者と振り返り】

- 今日の出来事は自分にとって忘れられない一日であり、私が今後授業を設計していくうえで役に立つ大きな経験となった。(学生)
- 簡単なことからだんだん難しいことに挑戦させていくという計画が、とても参考になった。自分で計画を立てる時に大変有効である。(学生)
- 今回、通訳のサポートをしました。楽しかったです。疲れる感じは全くなかった。それは、最高に楽しかったからだと思います。意味あるイベントなのでまた機会があれば参加したいです。(通訳)

－学生ボランティアへのメッセージ－

清水エスパルス地域事業本部 教育事業本部長 今泉幸広

みなさんに感謝いたします。

子どもたちは初め緊張していましたが、皆さんの寄り添いながらの活動が最後の笑顔につながっていたと思います。

子どもたちにとって貴重な時間だったと思います。この時間は子どもたちにとって人生の1ページに刻み込まれると思います。色々な場面で思い出されると思います。皆さんの活動がどれだけの価値があるものか確認できたと思います。

また、皆さんにとっても大変貴重な体験に繋がったと思います。今後の皆さんの人生で様々な壁にぶつかるかと思いますが、今回の体験を経て乗り越えられる壁が多くあると思います。

最後まで粘り強く対応していた彼女と彼には、感謝の気持ちしかありません。

皆さんの活動は世界でも素晴らしい内容で、自信を持っていただきたいと思います。

私たちは、皆さんの活動を応援していきたいと思います。これからも、頑張ってください。（謝謝）

－施設訪問－

10月21日（月）桃園市立特殊教育学校訪問 エスパルスボール寄贈

財団法人桃園市李林樹社會福利基金會附設桃園教養院訪問 エスパルスボール寄贈



－参加人数－

台北市 来賓 15名 参加生徒 40人、大学生ボランティア 42人、通訳ボランティア 4人、学校職員 12人
静岡県台湾事務所 1人、日本からスタッフ 6人 合計 120人 他参加生徒の保護者、他機関の職員

桃園市 来賓 1人、参加生徒 35人、大学生ボランティア 35人、通訳ボランティア 4人、学校職員 11人
静岡県台湾事務所 2人、日本からのスタッフ 6人 合計 94人 他参加生徒の保護者、他機関の職員

－協賛企業・団体－



やさしさをかたちに
株式会社 コーチョー



焼肉飯店
京昌園



カークウォリティ車麗屋



華真ロータリークラブ



－協力・企業団体－



ふじのくに静岡県台湾事務所

靖麗国際有限会社